

全中初優勝の快挙たたえ 記念碑を除幕

東海大菅生中等部ソフトボール部 U-15 日本代表選手らの報告会も

昨年 8 月に富山で開催された「第 46 回全国中学校女子大会」で初優勝した東海大菅生高等学校中等部（あきる野市菅生）の「第 46 回全国中学校女子大会」で初優勝し



優勝記念碑を除幕し、さらなる飛躍を誓い合う

ソフトボール部の活躍をたたえる優勝記念碑が同校球技場入り口前に建てられ、5 月 17 日に除幕式が行われた。同大会には全国の予選を勝ち抜いた 28 校が出場。菅生は決勝で強豪の神田女学園（東京都）を 4-0 で破り、頂点に立った。大会では、鍛え上げられた守備力と切れ目のない打線で相手を圧倒した。除幕式には島田幸成理事長、布村浩二校長、村田隆一総監督率いるソフトボール部員ら、関係者らと、中嶋博幸あきる野市長、白井建あきる野市議会議長ら来賓を合わせて 100 人が出席。島田理事長、優勝時の 3 年生、関心春さん、吉本心渚さん、樽見美来さんが綱を引くと淡いピンクに輝く記念碑が現われ、盛大な拍手が贈られた。「全国制覇」、部訓の「報恩感謝」の文字と監督・選手らの名前が彫られた記念碑は御影石製で、高さ 1 メートル、幅 1.2 メートル。青梅市の石材店が施工した。引き続き、3 月下旬に開催され、菅生の部員たちが活躍した「第 2 回 U-15 アジアカップ」

プ、「第 21 回都道府県対抗全日本中学生大会」の優勝報告会が行われた。アジアカップには川合瑠香選手、北村葉琉投手、山本優依内野手の 3 人が代表入り。主力として活躍し、

チャイニーズ・タイペイとの決勝戦では、川合選手がマスクをかぶり、北村投手が勝利投手となった。都道府県対抗には原崎菜緒内野手、小澤彩良内野手、大森すみれ

外野手、西峯里桜外野手の 4 人が代表入り。東京優勝に貢献した。島田理事長は「日本一は正しく快挙。U-15 日本代表に 3 人が入り、世界一を目指すことも素晴らしい。将来、

の成長が、よい結果につながっている」と強さを分析した。U-15 日本代表は 6 月 27 日からイタリアで開催される「第 2 回ワールドカップ」に出場する。

青梅の野崎さん 全日本強化指定選手ユースAに

世界大会出場目指す



大勢待市長（右）を表敬訪問した野崎さん。同行の神野校長

青梅市立霞台中学校 3 年生の野崎日向さん（ユースA）がアルペンスキーの全日本強化指定選手となり、来季の世界大



攻めの滑りでタイムに挑む

の神野孝彦校長とともに青梅市役所を訪れ、大勢待利明市長を表敬し、指定選手入りを報告。「12 月に行われる選考レースで代表 2 枠に入り、世界大会で優勝したい」と目標を力強く語った。懇談の中で、夏は陸上競技の 100 メートルと走幅跳で全国大会を目指していることを披露。自己ベストは 11 秒 88 と 6 メートル 15 センチ。「7 月を跳びたい」と意欲を見せた。大勢待市長は「一番成長できる時期、文武両道、スキーと陸上の二刀流でがんばってほしい」と激励した。スキーを 1 歳で始めた野崎さん。3 歳前には 1 人で滑れるようになった。長野のスキークラブに所属し、シーズンの週末はスキー漬けで過ごす。練習はゲレンデで 4 時間、その後は体力づくりを行う。技術とフィジカルの上上とともにメンタル面を強化してきた。伸び盛りの 14 歳。周囲の期待は高まるばかりだ。